

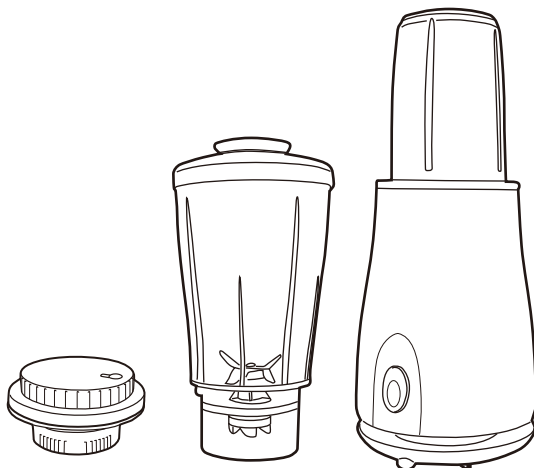


# 取扱説明書

## 家庭用

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途での使用はしないでください。  
思わぬ事故の原因になります。

## ミルミキサー MR-400



### も く じ

安全上のご注意	1～3
必ずお守りください	3
各部の名称とはたらき	4
使いかた	5～7
調理例	7～8
お手入れと保管	8～9
仕 様	9
故障かな?と思ったら	10
アフターサービスについて	10

この商品は、海外ではご使用になれません。  
FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、弊社ミルミキサーをお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
- ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、大切に保管してください。

# 安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをするときが生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



## 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡又は重傷を負うことが想定される内容を示しています。



## 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、軽傷や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## 警告



禁止

**交流100V以外での使用やコンセント・配線器具の定格を超える使いかたはしない**

- 延長コードやタコ足配線などで定格を超えると、コンセント部が異常発熱して、発火・火災の原因になります。



分解禁止

**修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造はおこなわない**

- 感電や発火したり、異常動作してけがの原因になります。
- ※故障と思われるときは、お買上げの販売店に点検・修理をご相談ください。



禁止

**傷んだ電源コードや電源プラグは使用しない。コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない**

- 感電・ショート・発火の原因になります。



指示に従う

**本体に異常・故障・破損があったり、電源プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する**

- 火災・感電・けがの原因になります。
- すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買上げの販売店に点検・修理をご相談ください。



指示に従う

**電源プラグは根元まで確実に差し込む**

- 感電や発熱による火災の原因になります。



プラグを抜く

**使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く**

- けが・やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



指示に従う

**定期的に電源プラグのほこりをふき取る。電源プラグにピンやゴミを付着させない**

- 刃や刃の取り付け面にピンやゴミが付着したり、ほこりがたまると、感電・ショート・発火の原因になります。また、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。
- 電源プラグのお手入れは、乾いた布でふいてください。



禁止

**コード巻きに電源コードを巻いたまま使用しない**

- 発火・けが・故障の原因になります。






禁止







**電源コードを傷付けたり、破損させたり、熱器具に近付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて使用したりしない**

- また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し火災・感電の原因になります。
- ※結束バンドは必ず外す。










# 警告

 <p><b>ぬれ手禁止</b></p> <p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない ●感電・けがの原因になります。</p>	 <p><b>水ぬれ禁止</b></p> <p>本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いをしない ●感電・ショート・火災・故障の原因になります。</p>
 <p><b>プラグを抜く</b></p> <p>容器やふたなどの取り付けや取り外しするとき、お手入れのときは必ず電源プラグをコンセントから抜く ●不意に動作してけがをしたり、ショート・感電の原因になります。</p>	 <p><b>指示に従う</b></p> <p>食材を容器から取り出すときやお手入れのときはカッターの刃に注意する ●けがの原因になります。</p>
 <p><b>禁止</b></p> <p>開口部やすき間にピンや針金、金属物などの異物を入れない ●感電や異常動作してけがをする原因になります。</p>	 <p><b>接触禁止</b></p> <p>カッターは鋭利なので直接手で触れない ●けがの原因になります。</p>
 <p><b>禁止</b></p> <p>安全スイッチを細い棒などで押さない ●不意に動作してけがをしたり、故障の原因になります。</p>	 <p><b>禁止</b></p> <p>運転中に注ぎ口キャップなどを外して調味料などを入れない ●食材がこぼれたり、けがの原因になります。</p>
 <p><b>禁止</b></p> <p>運転中やカッターが完全に停止するまでは容器やふたなどの取り付けや取り外しはしない ●食材がこぼれたり、けが・故障の原因になります。</p>	 <p><b>禁止</b></p> <p>運転中やカッターが完全に停止するまでは容器の中に指やスプーン・箸など食材以外のものを入れない ●けが・故障の原因になります。</p>
 <p><b>禁止</b></p> <p>カッターを露出したまま運転しない。回転中のカッターは危険なので絶対に触れない ●けがの原因になります。</p>	 <p><b>禁止</b></p> <p>お子様や取り扱いに不慣れな方だけで使用しない。乳幼児の手の届く所で使用したり、保管しない ●感電・けがの原因になります。</p>
 <p><b>指示に従う</b></p> <p>包装用ポリ袋はお子様手の届かない場所に保管する ●誤って顔にかぶったり、巻き付いたりして窒息し、死亡の原因になります。</p>	

# 注意

 <p><b>指示に従う</b></p> <p>1回の運転は1分間以内とする ●モーター故障などの原因になります。1分間以上の連続運転はしないでください。1分間ごとに30分間以上の休みを入れてください。</p>	 <p><b>禁止</b></p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かない ●感電やショートして発火することがあります。 ※必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。</p>
 <p><b>指示に従う</b></p> <p>カッターが完全に停止したのを確認してから電源プラグを抜き差しする ●けが・故障の原因になります。</p>	 <p><b>禁止</b></p> <p>電源コードを持って本体を引きずらない ●故障・事故の原因になります。</p>
 <p><b>禁止</b></p> <p>40℃以上のお湯で容器やふたなどを洗ったり、40℃以上の熱い食材を容器に入れない ●変形・変色・破損の原因になります。</p>	 <p><b>禁止</b></p> <p>容器やふたなどを電子レンジ、オーブンレンジ、食器洗い乾燥機などで使用しない ●やけど・変形・破損の原因になります。</p>

# 注意

<p> <b>不安定な場所や次の場所で使用しない</b></p> <p><b>禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●故障・けが・感電・火災の原因になります。</li> <li>●火気（コンロ・ストーブ）などの近くや直射日光のあたる所。</li> <li>●高温（40℃以上）になる所。</li> <li>●ほこりや金属片の多い所。</li> <li>●油や油煙・引火性のガスのある所。</li> <li>●雨や水のかかる場所や湿気の多い所。</li> </ul>	<p> <b>食材が多すぎたり、その他の原因でカッターの回転が遅かったり、停止したときはすぐに運転を中止する</b></p> <p><b>指示に従う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●故障・事故・けがの原因になります。</li> </ul>
<p> <b>運転中に本体を持ち運んだりしない</b></p> <p><b>禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●けが・故障の原因になります。</li> </ul>	<p> <b>本体に容器やふたなどを取り付けていない状態で運転しない</b></p> <p><b>禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●けが・故障の原因になります。</li> </ul> <p>※必ず容器やふたなどを取り付け、食材を入れてから運転してください。</p>
<p> <b>本体や容器などを落としたり、強い衝撃を与えない</b></p> <p><b>禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●故障・破損・感電の原因になります。</li> </ul>	<p> <b>カラ運転や極端に少ない食材で運転しない</b></p> <p><b>禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●けが・故障の原因になります。</li> </ul>
<p> <b>本製品は一般家庭用です。絶対に業務用に使用しない</b></p> <p><b>禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●本製品に無理な負担がかかり、火災・事故・故障の原因になります。</li> </ul>	<p> <b>移動や持ち運ぶときは注意する</b></p> <p><b>指示に従う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●本体や容器など落下すると破損・けが・故障の原因になります。</li> </ul>
<p> <b>調理以外の目的で使用しない</b></p> <p><b>禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●けが・故障の原因になります。</li> </ul>	<p> <b>容器などは確実に取り付け、本体を手でしっかり支えて運転する</b></p> <p><b>指示に従う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●けが・故障の原因になります。</li> </ul>
<p> <b>お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない</b></p> <p><b>禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●製品の変質や劣化による破損・故障・けが・事故の原因になる場合があります。</li> </ul> <p>※お手入れは水またはぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を含ませたふきんで汚れをふき取ってください。</p>	<p> <b>掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹き付けない</b></p> <p><b>禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●変質・破損などにより、けが・事故の原因になります。</li> </ul>

## 必ずお守りください

※本製品で流動食は作らないでください。モーターに負担がかかり故障の原因になります。

※下記の食材を調理するとカッターが破損するなどけがや故障の原因になります。

### ■ミキサーで調理できない食材

- 氷
  - 肉・魚類
  - 固い食材……………大豆、コーヒー豆、乾物類、冷凍した食材など
- ※豆類や乾物類はミルで調理してください。
- 粘りけの強い食材…長芋やじねんじょなど
  - 水分の少ない食材…ゆでたじゃがいもなど

※フードプロセッサーではないので、ハンバーグなどのタネ作りには使用できません。

### ■ミル・お茶挽きで調理できない食材

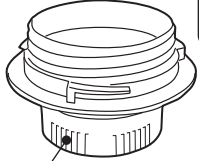
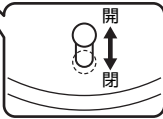
- 〔ミル・お茶挽きは乾燥物専用です〕
- 氷
  - 水分を含んだ食材
  - 固い食材…かつおぶし、炒っていない大豆、炒っていないコーヒー豆、氷砂糖など

※大豆やコーヒー豆などは、皮がはじけるまでよく炒ってから調理してください。

# 各部の名称とはたらき

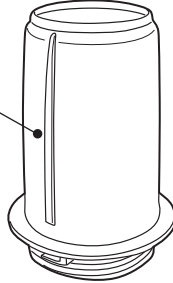
保存用  
容器ふた

ふりかけ口  
スライドさせると  
ふりかけ口が開き  
ます。



お茶挽き容器

ミル容器



パッキン

ふたの注ぎ口に  
最初から取り付け  
てあります。  
取り外さないで  
ください。



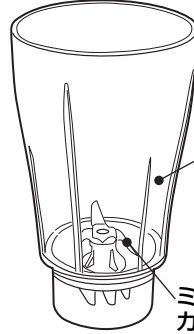
注ぎ口キャップ  
ふたを取らずに注ぎ口  
キャップを外し、注ぎ口  
から砂糖などの調味料  
を入れることができます。  
※必ず運転を停止して  
から入れてください。

注ぎ口

ミキサー  
容器ふた



ミキサー  
容器



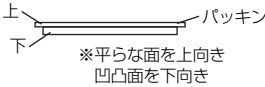
ミキサー  
カッター

パッキン

出荷時パッキンは容器ホルダーに取り  
付けられています。  
新たに取り付ける必要はありません。  
お手入れなどでパッキンを外したときは  
取り付けの向きに注意してください。

**パッキン取り付け時の注意**

下図を参照して向きに注意して取り  
付けてください。



ミル  
カッター

容器  
ホルダー

安全スイッチ



容器が本体に正しく取り  
付けられていないと運転  
スイッチを押しても運転  
しません。

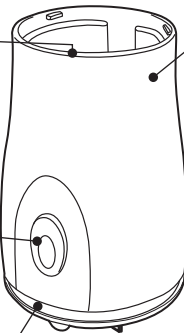
運転スイッチ

押している間だけ  
カッターが回転  
します。

排気口 (本体背面)



排気口をふさがない  
ようにしてください。



本体

電源コード

電源プラグ

**警告**



コード巻きに電源コードを  
巻いたまま使用しない  
●発火・けが・故障の原因にな  
ります。

コード巻き

電源コードを巻き付けて  
収納できます。

# 使いかた

■はじめてお使いになるときは、8～9ページの「お手入れと保管」を参照して各部品を水洗いする。

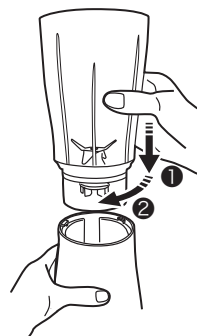
## ミキサーの使いかた

### 1 本体にミキサー容器を取り付ける

- 1 本体を手でしっかり支えて容器を本体に差し込む。
- 2 容器が止まるまで時計回りに回して確実に取り付ける。

#### ご使用上の注意

※容器が確実に取り付けられていないと、運転中に容器が外れてけがや故障の原因になります。

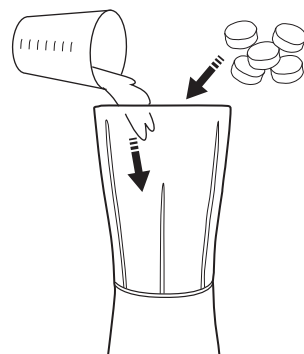


### 2 ミキサー容器に食材を入れ、ミキサー容器ふたと注ぎ口キャップを取り付ける

大きめの食材は2cm角位の大きさにカットしてから容器に入れ、ミキサー容器ふたと注ぎ口キャップを確実に取り付ける。

#### ご使用上の注意

※水分の多い食材を先に入れ、水分の少ない食材をあとに入れてください。  
※食材と一緒に必ず水、または牛乳を入れてください。カッターに食材がからみ、故障の原因になります。  
※食材は400ml (MAX線) 以上入れないでください。故障の原因になります。



### 3 電源コードの結束バンドを必ず外し、電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグを根元まで確実にコンセントに差し込む。

### 4 本体を手でしっかり支え、ミキサー容器ふたとを押さえて運転スイッチを押す

- 食材の種類やお好みのできあがり状態により運転時間を調節する。
- 食材を少しずつ入れるときは、運転を停止してふたを外して入れるか、注ぎ口キャップを外して入れる。



#### ⚠ 注意



1回の運転は1分間以内とする

- モーター故障などの原因になります。  
1分以上の連続運転はしないでください。  
1分間ごとに30分以上の休みを入れてください。

指示に従う

# 使いかた つづき

## 5 調理が終わったら、電源プラグをコンセントから抜き、ミキサー容器を取り外す

- 1 本体を手でしっかり支えて容器を反時計回りに回す。
- 2 容器を持ち上げて本体から外す。

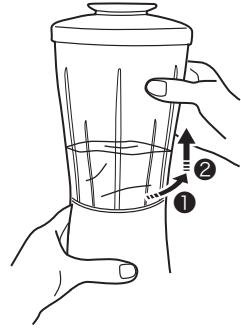
### 警告



容器やふたなどの取り付けや取り外しのとき、お手入れのときは必ず電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜く

- 不意に動作してけがをしたり、ショート・感電の原因になります。



## ミル・お茶挽きの使いかた

※イラストはミル容器で説明していますが、お茶挽き容器も同様の使いかたです。

### 1 食材をミル容器、またはお茶挽き容器に入れる

#### ご使用上の注意

※食材は最大目盛り以上入れないでください。故障の原因になります。

また、目盛り線は目安として食材により分量を調節してください。(お茶挽き容器の場合は1回3gまでです)



### 2 容器ホルダーをミル容器、またはお茶挽き容器に取り付ける

容器ホルダーの刃の付いた側を下にして、時計回りに回して容器に確実に締め付ける。

#### ご使用上の注意

※取り付ける前に容器ホルダーのパッキンの取り付け忘れや、位置ずれなどが無いことを確認してください。

※締め付けがゆるいと振動で食材がもれることがありますので、容器ホルダーの傾きやゆるみがないよう確実に締め付けてください。

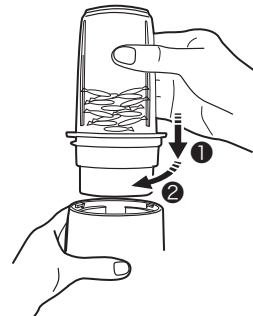


### 3 本体にミル容器、またはお茶挽き容器を取り付ける

- 1 本体を手でしっかり支えて、容器を本体に差し込む。
- 2 容器が止まるまで時計回りに回して確実に取り付ける。

#### ご使用上の注意

※容器が確実に取り付けられていないと、運転中に容器が外れてけがや故障の原因になります。



# 使いかた つづき

## 4 電源コードの結束バンドを必ず外し、電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグを根元まで確実にコンセントに差し込む。

## 5 本体を両手でしっかり支え、運転スイッチを押す

- 食材の種類やお好みのできあがり状態により運転時間を調節する。

### ご使用上の注意

※ミル容器・お茶挽き容器は乾燥物用ですので、水分を含んだものは調理しないでください。

### ⚠注意



指示に従う

1回の運転は1分間以内とする

- モーター故障などの原因になります。1分以上の連続運転はしないでください。1分間ごとに30分以上の休みを入れてください。

## 6 調理が終わったら、電源プラグをコンセントから抜き、ミル容器、またはお茶挽き容器を取り外す

- 1 本体を手でしっかり支えて容器を反時計回りに回す。
  - 2 容器を持ち上げて本体から外す。
- 調理したものをそのまま保存したいときは、保存用容器ふたを確実に締め付けて保存する。

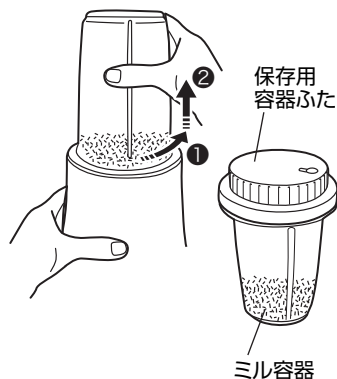
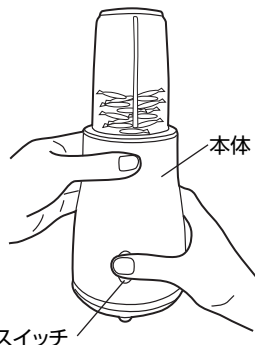
### ⚠警告



プラグを抜く

容器やふたなどの取り付けや取り外しのとき、お手入れのときは必ず電源プラグをコンセントから抜く

- 不意に動作してけがをしたり、ショート・感電の原因になります。



# 調理例

※運転時間は調理する食材の状態や、お好みのできあがり状態により異なりますので、目安にしてください。

## ■ミキサー

※分量はお好みに合わせてください。

調理名	食 材	運転時間	作 り か た
バナナジュース	バナナ……1/2本 牛乳………120ml はちみつ……適量	約15秒	うす切りにしたバナナと牛乳、はちみつを一緒にミキサー容器に入れ、ミキサーにかける。
トマトジュース	トマト……1/2個 水 ………50ml 塩 ………適量	約15秒	2cm角に切ったトマトと水、塩を一緒にミキサー容器に入れ、ミキサーにかける。
りんごジュース	りんご……1/2個 水 ………50ml はちみつ……適量	約20秒	1cm角に切ったりんごと水、はちみつを一緒にミキサー容器に入れ、ミキサーにかける。



# 調理例 つぎ

## ■ミル・お茶挽き

食 材	調理状態	運転時間	調 理 例
煮 干 (2cmくらいを15g)	粉末	30~40秒	おみそ汁、おでんのだし汁、ふりかけなどに
だし昆布 (よく乾燥したもので1cm角を10g)	顆粒・粉末	50~60秒	煮物のだし汁、ふりかけなどに
干しいたけ(1cm角くらいを10g)	粉末	20~30秒	煮物のだし汁、天ぷらの衣に混ぜて
ご ま (よく炒ったもの15g)	顆粒・粉末	1~3秒	豆腐、野菜、漬物、おひたしなどにふりかけて、 またはあえものに混ぜて
コーヒー豆(よく炒ったもの25g)	顆粒・粉末	30~40秒	お好みの濃さで運転時間を調整する
大豆 (よく炒ったもの30g) ※皮がはじけるまでよく炒ります	粉末	40~50秒	きな粉に、和菓子の材料に
お茶 (3g)	微粉末	40~50秒	和菓子の材料に
食パン(1cm角程度に切ったもの15g)	粉末	3~5秒	パン粉に

- できあがった調理物をミル容器に入れて保存する場合は、保存用容器ふたを使用する。ふたは確実に締め付けて保存する。
- ※保存用容器ふたにはふりかけ口が付いています。ご飯やおにぎりなどにふりかけるときに使用してください。ふりかけが出にくい場合は、容器を軽くたたいてふりかけてください。



## 調理アドバイス

- 食材がミキサー容器(ミル容器)の内側に付着して調理しにくいとき  
運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜き、ミキサー容器(ミル容器)を本体から取り外して付着した食材をヘラなどを使って落としてから調理する。
- 食材がカッターと容器ホルダーなどの間に挟まり調理しにくいとき  
運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜き、ミキサー容器(ミル容器)を本体から取り外して挟まっている食材を取り除いてから調理する。食材が大きくて調理しにくい場合は、取り除いたあとに小さく切ってから調理する。

## ■刃がカラ回りして調理しにくいとき(ミル使用時)

- 食材がミル容器の上側に付着するときは、運転を停止し電源プラグをコンセントから抜き、ミル容器を本体から取り外して軽く振って落としてから調理する。このとき、容器がゆるまないように注意する。
- 食材が跳ね上がるときは、運転スイッチを断続的に押し続けて調理するか、小分けしてお茶挽き容器に入れかえて調理する。

### ご使用上の注意




- 無理に運転を続けると、モーター故障の原因になります。

# お手入れと保管

- ミルミキサーは、食品に触れる調理器具です。お使いになった後は必ずお手入れをして、いつも清潔な状態で使用する。

※お手入れのときは、けがなどを防止するためゴム手袋などを着用してください。

## 警告

 <p>容器やふたなどの取り付けや取り外しのとき、お手入れのときは必ず電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>● 不意に動作してけがをしたり、ショート・感電の原因になります。</p>	 <p>● 本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いをしない</p> <p>● 感電・ショート・火災・故障の原因になります。</p> <p>水ぬれ禁止</p>
 <p>● カッターは鋭利なので直接手で触れない</p> <p>● けがの原因になります。</p> <p>接触禁止</p>	

# お手入れと保管 つづき

## ⚠ 注意



お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない  
 ●製品の変質や劣化による破損・故障・けが・事故の原因になる場合があります。  
 禁止 ※お手入れは水またはぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を含ませたふきんで汚れをふき取ってください。



掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹き付けけない  
 ●変質・破損などにより、けが・事故の原因になります。

### ■本体（丸洗いできません）

- 水に浸した柔らかいふきんをよくしぼって汚れをふき取る。
- 落ちにくい汚れは、薄めた台所用中性洗剤に浸した柔らかいふきんをよくしぼってふき取り、さらに乾いた柔らかいふきんで洗剤分が残らないようにしっかりふき取る。

#### ご使用上の注意

※本体の丸洗いは絶対にしないでください。

### ■ミル容器・お茶挽き容器・ミキサー容器ふた・注ぎ口キャップ・パッキン・保存用容器ふた（丸洗いできます）

- 台所用中性洗剤を柔らかいスポンジに含ませて丸洗いです。
- 洗剤分が残らないように水で洗い流し、乾いた柔らかいふきんで水分をふき取ってしっかり乾燥させる。

### ■ミキサー容器（丸洗いできます）

- 容器は台所用中性洗剤を柔らかいスポンジに含ませて丸洗いです。
- カッター部分は台所用中性洗剤をブラシに数滴付けて洗う。
- 洗剤分が残らないように水で洗い流してしっかり乾燥させる。

### ■容器ホルダー（丸洗いできます）

- 先の細いものを使ってパッキンを外す。
  - 台所用中性洗剤をブラシに数滴付けて丸洗いです。
  - 洗剤分が残らないように水で洗い流してしっかり乾燥させる。
- ※パッキンを容器ホルダーに取り付けるときは、4ページの「各部の名称とはたらき」を参照して、向きに注意して取り付けてください。

### ■保管

- 保管の前は、必ずお手入れをおこなう。
- お手入れした後よく乾燥させ、包装ケースに納めるかポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管する。（湿ったまま保管するとカビや異臭の発生・故障の原因になります）



## 仕 様

	ミキサー	ミル	お茶挽き
電 源	交流100V 50-60Hz共用		
消 費 電 力	130W		
定 格 時 間	1分間以内（1分間使用ごとに30分間以上休止）		
回 転 数	22,300回/分	24,000回/分	24,000回/分
製 品 寸 法（約）	直径:100×高さ:295mm	直径:100×高さ:240mm	直径:100×高さ:175mm
製 品 質 量（約）	0.9kg	0.8kg	0.77kg
定 格 容 量	400ml	75ml	最大3g
コ ー ド 長（約）	1.8m		
安 全 装 置	温度ヒューズ、電流ヒューズ、安全スイッチ		

※上記の仕様は改善などのため、予告なく変更する場合があります。

# 故障かな?と思ったら

次の点検をおこなってください。

症 状	原 因	処 置
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか?</li> <li>●容器が確実に取り付けられていますか?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。</li> <li>●容器を確実に取り付けてください。</li> </ul>
カッターが回らない 振動が大きい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●食材を入れすぎていませんか?</li> <li>●食材が大きすぎませんか?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●量を減らしてください。</li> <li>●小さく切り直してください。</li> </ul>
カッターの回転が遅くモーターがうるような音がる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●食材がカッターにからまっていますか?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カッターにからまった食材を取り除いてください。</li> </ul>

## 点検のお願い

安全に長くご愛用いただくために、日頃から点検をおこなってください。

### ★こんな症状はありませんか?

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 電源コード、プラグに深い傷や変形がある。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- こげくさいにおいがする。
- 器具に触れるとビリビリと電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

- 電源プラグやコンセントにほこりやごみがたまっている。

### ★異常があれば

#### ご使用中止!!

故障や事故防止のため、運転を停止し電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

ほこりやごみを取り除いてください。

## アフターサービスについて

- この製品は保証書がついております。お買上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- 保証期間はお買上げ日より1年です。保証期間中の修理はお買上げの販売店にご依頼ください。保証書の記載内容により修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理(有料)についてはお買上げの販売店にご相談ください。
- この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載の「山善 家電お客様サービス係」へお問い合わせください。

この製品についてのお取扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「山善 家電お客様サービス係」にご相談ください。

- FAXまたはEメールでのご相談も受け付けております。その際は、商品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

### 「山善 家電お客様サービス係」

お電話 0570-077-078

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。受付時間：10:00～17:00(土・日・祝日を除く)

●FAXでの相談は 0120-680-287

●Eメールでの相談は info\_m@yamazen.co.jp

### 個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には商品名・品番をご連絡ください。

J-130829